

2024年12月
一般社団法人RWO説明資料

一般社団法人RWO 設立の経緯と活動予定

Research Institute for Well-being in Old Age
高齢期生活向上研究会

出口幸子

RWO事務所： 世田谷区祖師谷3丁目

目次

1. 近畿大学工学部での研究の説明
2. 歌の応用
3. 一般社団法人RWOの設立・目的・事業
4. 今後の予定

1. 近畿大学工学部での研究の説明

研究目的:

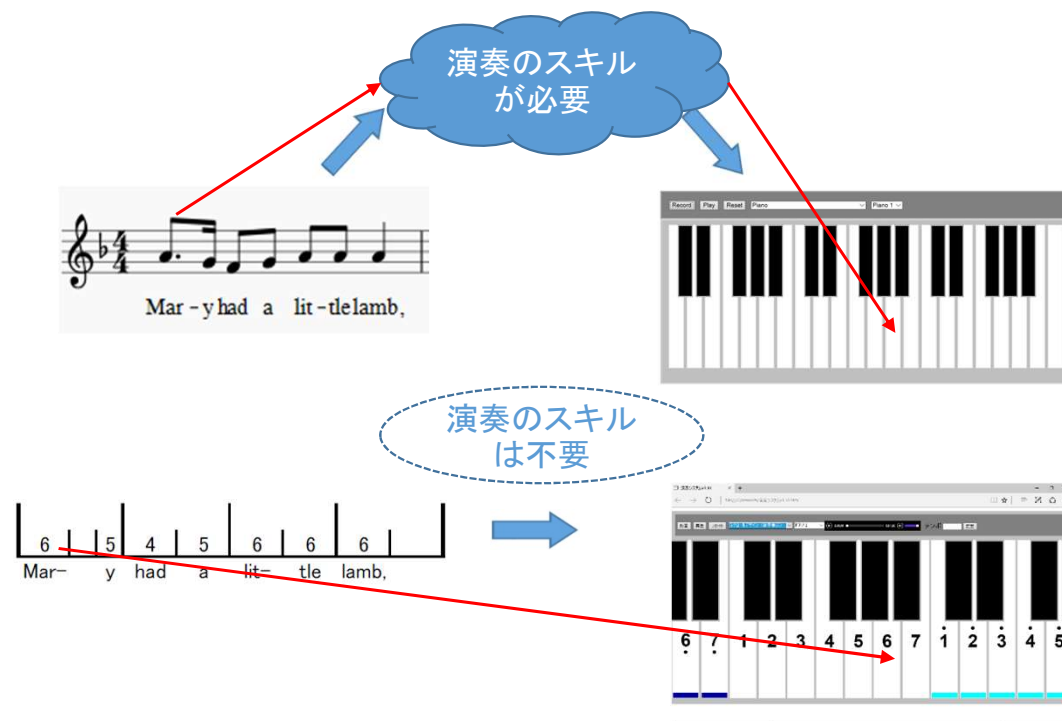
- 音楽(演奏や歌唱)をより容易に生活に取り入れられるようにして, 多くの人のQOL(生活の質)向上に役立てたい.
 - 特に, 高齢者や認知症の方々とそのご家族が, 自宅で気軽に歌えるようにしたい.
- ∴音楽は認知症でも後期まで楽しめることが知られている.

研究課題:

- 高齢者や認知症の方々のQOL向上, 要介護者と介護者のコミュニケーションの改善, および介護者のストレス軽減が必要である.
- 楽器演奏経験のない人が楽器を演奏することは難しい.

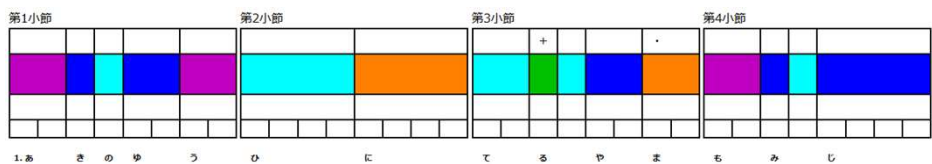
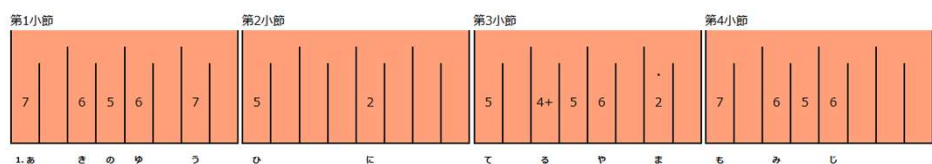
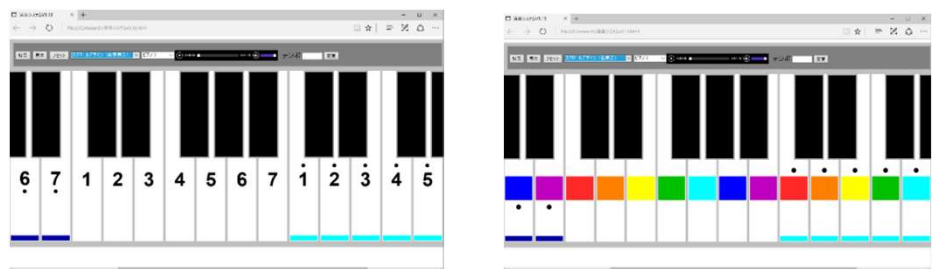
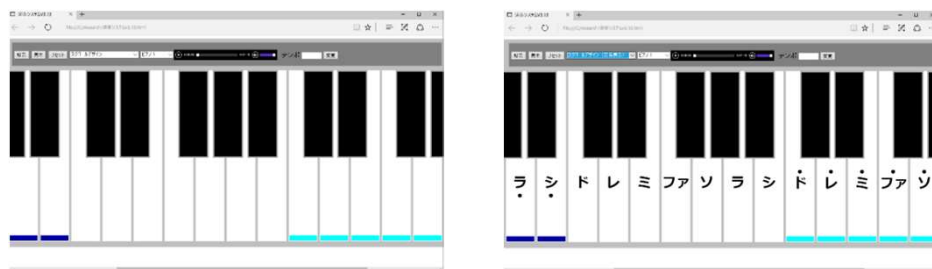
課題の解決方法:

楽譜表記方法が重要



- 高齢者のQOL向上のための演奏システムを提供(ユーザーインターフェースと楽譜). 特に, 弾きながら歌うためのツールを目指す.
- 同システムを高齢者と介護者とのコミュニケーションツールとして使用.

研究内容(2016年より開始):



演奏経験の無い人にも弾き・歌いやすいユーザインターフェースと楽譜を提供:

音の高さを, 数字(1~7), 色(赤~紫), あるいは音名(ド~シ)で表す.

地域の60~70代の方による評価実験



歌いながら弾く場合:

- ・数字が有効.
- ・色も可能.
- ・音名は歌詞と競合して使いにくい.
(覚えている曲は音名でも弾きやすい)

介護施設で音楽演奏の出張講座を実施(2019年)

- 数字譜と市販の電子キーボード(数字貼付)を使用.
- 得られた知見
 - (a) 1オクターブを超える音は弾きにくい.
 - (b) シャープやフラットの音は弾きにくい.
 - (c) 童謡をよく覚えている.
 - (d) 熱心で楽しそうであった.



UI(ユーザインタフェース)を改良:

- UIを8音(ドレミファソラシド)に限り, 8音で弾ける楽譜を提供.
- 移調して# / b を無くす.

データベースを改良: 童謡を増やす.

利用方法の再考: 介護者より本人が使うことを検討.

楽譜等の紹介: <https://deguchilab.org/pub/music.html>

開発したシステムの種類

演奏システム

- 鍵盤, 弦(太, 細)
- 1オクターブ, 3オクターブ, 任意の数
- 音高: 音名(英, 日), 数字, 色
- タッチ: ピアノ系, オルガン系
- 音源: ピアノ, エレピ2種, オルガン2種, 他
- 諸機能: 録音・再生, 楽譜情報の自動演奏

楽譜表示システム

- 音高: 音名(英, 日), 数字, 色
- 音価: 距離, 記号
- 拍子: 2/4, 3/4, 4/4, 6/8
- 移調機能等
- 外部データの取り込み: MusicXML, Humdrum
- 五線譜への数字(音高)の記入

社会実装の計画(近畿大学工学部にて)

第1段階: 既存の電子キーボードに数字を貼ったものおよび数字譜を、県内の自治体の住民(高齢者および認知症の方と同居する家族)に配布し、家族と高齢者・認知症の方々に使って頂く。(→ 家族に使うことは難しい状況)

第2段階: 著作権切れの童謡・唱歌をデータベース化し、それらの数字譜・色楽譜・音名譜を公開する。また、数字譜・色楽譜・音名譜を表示するシステムを公開し、一般の方が自分の好きな曲を五線譜から数字譜・色楽譜・音名譜に変換できるようにする。

第3段階: 数字・色・音名で表記したユーザインタフェースの演奏システム(タブレットPCで動作)を公開し、一般の方に使って頂く。

第4段階: 鍵盤タイプのUI(ユーザインタフェース)に加え、弦タイプのUIを提供する。弦タイプのUIを弾くための楽譜は鍵盤タイプの楽譜と異なるため、その楽譜を生成するシステムも合わせて提供する。

2. 歌の応用

- 2020年に鈴木さんと口腔ケアに関して共同研究ができるかどうかを検討.
∴口腔ケアがフレイルの予防に重要である.
- 歌うことで口腔ケア(誤嚥の予防)を目指す.
 - 口腔ケアの指導: 鈴木さん
 - 歌の指導と伴奏: 2024年に伊原さんに依頼
 - 演奏しながら歌うシステム・楽譜の紹介: 出口

3. 一般社団法人RWOの設立・目的・事業

• 設立

- 近畿大学の100周年記念事業として近大発ベンチャー100社の企画があり, 設立を支援してもらった.
- 近畿大学での研究を基に, 範囲を広げた.
- 鈴木さんと伊原さんに理事として参加して頂いた.

• 目的と事業

目的: 高齢期の人が安心して充実した生活を送るための支援をする

事業:

- (1) フレイルの予防に関する事業
- (2) 音楽や美術を利用して生活の質を向上させる事業
- (3) 健康に関する科学的知見を集積する事業
- (4) 前各号に附帯又は関連する事業

一般社団法人にする意義

- 音楽演奏や口腔ケアに歌唱を取り入れる活動を自治体と協力して実施する場合、法人とすることで可能となる。
- 異業種の方々が高齢期の支援に関しそれぞれの視点で提案することで、新しい活動が生まれる可能性がある。

RWOへのご参加について

- 高齢期の生活の支援に関し、ご自身のテーマを持って頂きたい。
- それぞれのテーマを実施する際に、興味のある方々にご協力頂きたい。
- 講座の開催や自治体との連携については、出口の経験の範囲でサポートさせて頂きたい。

4. 今後の日程等

事業年度： 毎年7月1日から翌年6月30日までの年1期

総会： 毎年8月に予定

2024年～2026年3月：

年に2～3回会合を開き，活動内容について検討.

2026年8月： 理事および代表理事の改選. 具体的な活動の開始.

経費：

- 設立時： 定款認証手数料，登録免許税，等（代表理事が負担・理事の了解済み）
- 毎年： 住民税（代表理事が負担・理事の了解済み）
- 活動時： 活動費用を必要に応じて分担？（今後検討）